

# JIS

ファインセラミックスー  
光触媒材料のセルフクリーニング性能試験  
方法ー第2部：湿式分解性能

JIS R 1703-2 : 2014

(JFCA/JSA)

平成 26 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 窯業技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	篠崎 和夫	東京工業大学
(委員)	井上 治	一般社団法人電子情報技術産業協会
	伊吹山 正浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (電気化学工業株式会社)
	鷗澤 孝夫	硝子繊維協会
	加藤 久樹	一般社団法人日本鉄鋼連盟 (JFE スチール株式会社)
	加藤 亮一	一般社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	兼松 渉	独立行政法人産業技術総合研究所
	調子 忠行	一般社団法人日本工業炉協会
	仲村 誠	耐火物技術協会 (黒崎播磨株式会社)
	久田 隆司	板硝子協会 (日本板硝子株式会社)
	町田 隆志	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (株式会社日立製作所)
	渡辺 正志	炭素繊維協会 (東邦テナックス株式会社)

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.7.20 改正：平成 26.2.20

官 報 公 示：平成 26.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ファインセラミックス協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 1-2-6 ランドマーク芝公園 TEL 03-3431-8271)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：窯業技術専門委員会 (委員長 篠崎 和夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験装置	2
4.1 器具及び装置	2
4.2 試薬	3
4.3 試験室の温度及び湿度	3
4.4 試料の標準状態	3
5 試験操作	3
5.1 試験片の調製	3
5.2 有機物の除去	4
5.3 メチレンブルー吸着液及びメチレンブルー試験液の調製	4
5.4 試験片の実験準備	4
5.5 放射照度の調整	4
5.6 メチレンブルーの吸着	5
5.7 初期吸光スペクトルの測定	5
5.8 紫外光照射によるメチレンブルー分解	6
5.9 暗条件によるメチレンブルー吸着	6
6 試験結果の計算	6
7 試験結果の報告	8
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	9
解 説	12

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ファインセラミックス協会（JFCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS R 1703-2:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次に示す特許権及び出願公開後の特許出願の使用に該当するおそれがあるので、留意すること。

- － 発明の名称                      光触媒活性の測定方法及び光触媒活性評価フィルム
- － 設定の登録年月日              2003 年 7 月 11 日
  
- － 発明の名称                      光触媒活性の測定方法およびその装置
- － 設定の登録年月日              2001 年 11 月 2 日

上記の、特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施を許諾等する意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実施が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権等に関わる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権をいう。

**JIS R 1703** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS R 1703-1** 第 1 部：水接触角の測定

**JIS R 1703-2** 第 2 部：湿式分解性能

# ファインセラミックス— 光触媒材料のセルフクリーニング性能試験方法— 第2部：湿式分解性能

Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)—  
Test method for self-cleaning performance of photocatalytic materials—  
Part 2: Decomposition of wet methylene blue

## 序文

この規格は、2010年に第1版として発行された **ISO 10678** を基とし、この **ISO 10678** の一部の内容を追加し、整合させるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

## 1 適用範囲

この規格は、平板状の光触媒材料のセルフクリーニング性能に影響を与える指標のうち、湿式分解性能の測定について規定する。

ただし、水が染み込んで保持できないような透水性のある光触媒材料には適用しない。

なお、この規格は、主として太陽光の照射下において波長 300～380 nm の紫外線領域で効果を示す光触媒を対象としている。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 10678:2010**, Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)—Determination of photocatalytic activity of surfaces in an aqueous medium by degradation of methylene blue (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS K 0557** 用水・排水の試験に用いる水

**JIS K 0970** ピストン式ピペット

**JIS K 7100** プラスチック—状態調節及び試験のための標準雰囲気

**JIS K 8034** アセトン（試薬）

**JIS K 8101** エタノール（99.5）（試薬）